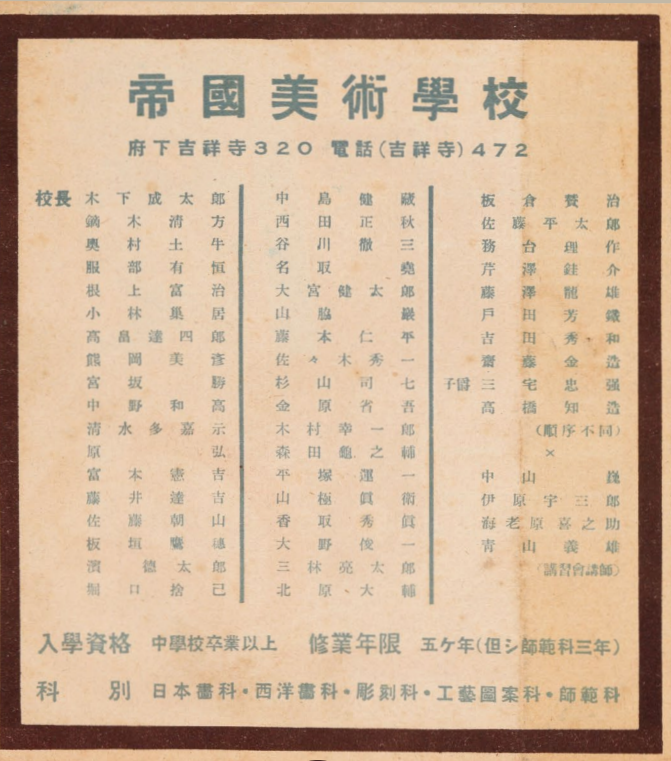
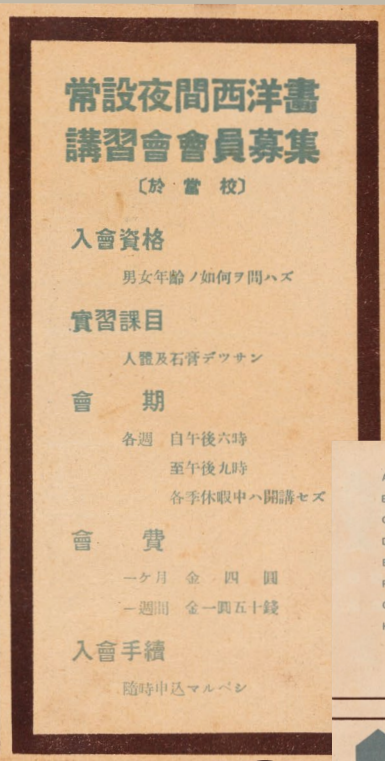
昭和初年の美術学校の地理学（トポス）

ムサビクロニクルとは

美術・デザイン史検証委員会は、武蔵野美術大学創立100周年記念事業の一環として、日本の美術史・デザイン史において本学の教育・研究が果たしてきた役割を位置づけるとともに、近現代日本の美術・デザイン史を領域横断的に読み解く書籍の刊行を目指しています。「ムサビクロニクル」は、外部有識者を招聘し、美術史・デザイン史の観点から多様なテーマを扱うトークイベントおよび講演会を実施する特別講座です。

ムサビクロニクル Vol.1
美術・デザイン教育の検証
特別講座シリーズ







帝国美術学校第9回創立記念展リーフレット
1938年 行田市郷土博物館蔵

趣旨説明

加藤幸治
美術・デザイン史
検証委員会委員長

講師

五十殿利治（おむか）氏
筑波大学名誉教授

美術史家。ロシア・アヴァンギャルド、大正期新興美術運動を中心に、20世紀前半の前衛美術研究をリードしてきた。『大正期新興美術運動の研究』『非常時のモダニズム』（芸術選奨文部科学大臣賞）などの著書に加え、「美術批評家著作選集」全21巻を監修。

2026年10月14日（水） 16時40分～18時10分

会場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス1号館103教室
対象：本学教職員、学生、校友、一般の方もどうぞ
料金：参加無料・当日会場へお越しください。

主催：武蔵野美術大学 美術・デザイン史検証委員会
（事務局）武蔵野美術大学　教学企画チーム
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
kyogaku@musabi.ac.jp

Musashino Art University
1929-2029
100th
美はつづく。